



主要地方道鶴岡羽黒線 道路改築事業

『羽黒山バイパス工区』



鶴岡市羽黒町手向地内



令和2年11月8日全線開通

羽黒山神路大橋を通過して、 羽黒山に行こう！



令和2年11月
山形県



事業概要

主要地方道鶴岡羽黒線は、沿線区域にお住まいの方々の日常を支える道路となっており、また、県の主要な観光地である羽黒山と鶴岡市街地を結ぶ、重要な広域観光道路の一部にもなっております。

しかしながら、鶴岡市手向地内の山間部区域の道路は、幅員が狭く、カーブが続き、急勾配となっているため、特に冬期間積雪時は、スリップ等による渋滞および事故が発生し交通のネックとなっていました。このため、安全かつ円滑な交通と広域観光道路としての機能を確保し、良好な道路環境を形成するため、当該区間の羽黒山神路大橋を含む3,220m区間について、平成2年度にバイパス工事として事業を進めてまいりました。

事業諸元

整備延長 L = 3,220m
 道路規格 3種3級（設計速度50km/h）
 幅員 車道9.5m 歩道2.5m
 事業期間 平成2年度～令和2年度（30年間）
 事業費 約73億円

事業効果

アクセス改善・冬期間の交通改善、急カーブ解消
 道路幅員の大幅な向上 6.0m→9.5m
 道路最急勾配 12.5%→5.3%

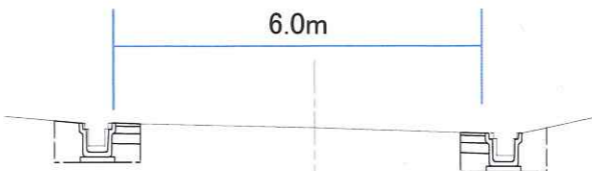


幅員狭小・急カーブ

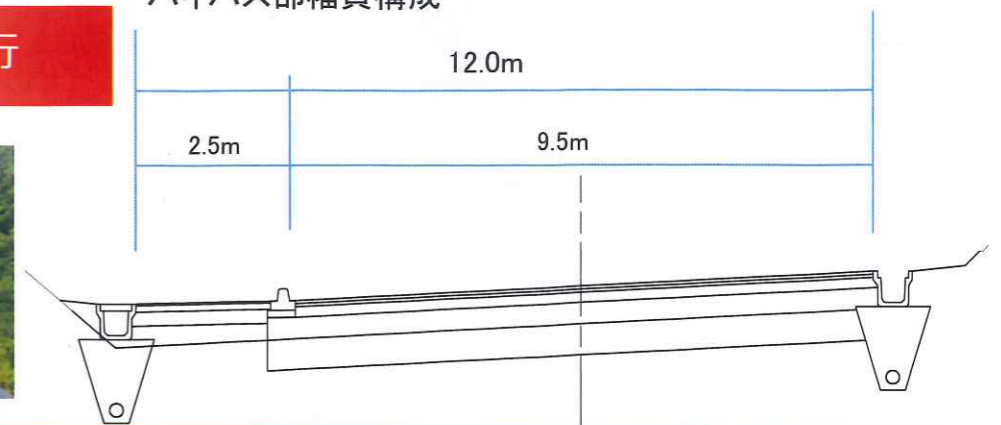
整備

快適な通行

現道部幅員構成



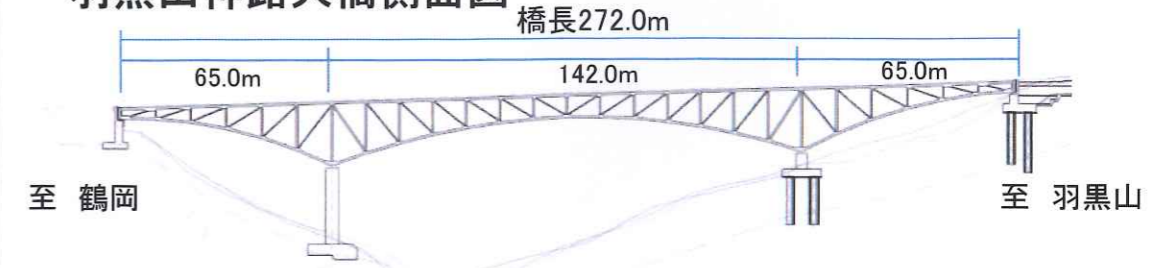
バイパス部幅員構成



羽黒山神路大橋諸元

橋長 L = 272m
 工事期間 平成26年度～令和2年度（7年間）
 工事費 約34億円
 橋梁構造 鋼上路式3径間連続曲弦トラス
 支間長 65m + 142m + 65m

羽黒山神路大橋側面図



橋名の由来

橋名には、山形県の主要観光地である架橋場所を表す「羽黒山」と、歴史と伝統ある出羽三山神社に至る道路に架かる橋であることから、参拝者のもとより一般の方々にも「神の路」ということを感じながら往来していただきたいという意味を込めております。

